

研究科	大学院看護学研究科博士後期課程
専攻	看護学専攻
アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 実践の科学である看護学をグローバルな視点を養いつつ、科学的根拠に基づいて探究し続けることができる者 2. 探究した内容を看護教育の質、教員としての能力向上や研究能力のさらなる向上に役立てたいと考える者 3. 大きく変化している社会背景に鑑み、哲学的思考能力や看護観、倫理観を高め研鑽していきたいと考える者 	

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 本課程の教育課程は、その教育目標を達成するため、博士後期課程での基盤的な能力を養う「共通科目」、各専門分野に対応し講義を含めた演習を行う「専門科目」、学位論文の研究指導を行う「特別研究」の3つの科目群により構成する。 2. 教育研究の専門分野は「看護教育管理学分野」、「がん看護学分野」、「広域看護学分野」の3つの科目群により構成する。 3. 博士後期課程の基盤となる共通科目として、「多文化共生看護論」、「看護教育哲学」、「看護学研究方法論」を配置し、それぞれ（1）多文化共生の視点から看護職として取り組むべき看護学の教育・研究・実践方法を開発する能力、（2）看護実践に根ざした看護事象を、哲学的基盤を踏まえて深く探究し学問的に追究できる能力、（3）看護研究の方法を深く学び諸科学の理論と実践とのつながりを解明していくと共に、先駆的な研究課題に取り組み看護学教育に還元できる能力、特にシステマティックレビューのプロセスを通じて国際的に通用する知の統合能力を修得し、質的・量的研究において各自の研究課題解決に必要な行動な研究能力を養う。 4. 専門科目として、各専門分野に対応した「看護教育管理学特講演習」、「がん看護学特講演習」、「広域看護学特講演習」を配置し、それぞれの専門分野に応じて（1）看護教育学・看護管理学における国内外の諸理論をグローバルな視点から概観し、その研究課題を見だし深化させる能力、（2）国内外のがんと医療の現状についてグローバルな視点から広く把握し、がん看護の実践・教育・研究において必要な理論を構築し、がん看護の向上 	

に貢献できる能力、(3) 国内外の保健・医療・看護の現状を理解・分析し、地域で生活するあらゆる健康レベルの人々への健康支援、疾病予防及び健康課題を解決するための方策を検討し、健康問題を抱え地域で暮らしつつ療養する人々への効果的なケアの開発及び地域全体のケアシステムの構築に貢献できる能力を養う。

5. 学位論文の研究指導のための特別研究科目を配置し、研究計画に基づく一連の自律的な研究過程を通じ、自立して高度な研究活動を行うことで、幅広い視野と深い学識を基盤とした、国際的に通用する独創的で卓越した研究能力を養う。

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

1. 高度な知の統合能力を修得し、質的・量的研究において幅広い視野と深い学識を基盤として、国際的に通用する自立した研究者、教育者として必要な独創的で卓越した看護学の研究能力を身につけている。
2. 広範囲に及ぶ国内外の文献のレビューを通して、看護学における先駆的な研究課題を見いだすとともに、その課題解決のための高度な研究方法を駆使できる能力、高度な看護理論の活用能力、ヒューマンケアの基本となる哲学的思考を基盤とした看護実践モデルの構築能力を身につけている。
3. グローバルかつ多文化共生の視点から科学的根拠を基に、国内外の看護・保健医療・がん看護をはじめとする健康課題の課題解決のための諸理論を構築するとともにその解決の方策を推進し、社会的な保健医療の課題解決に貢献できる能力を身につけている。